

安全研会報

令和5年2月

全国学校安全教育研究会 会報 NO.12
東京都学校安全教育研究会 会報 NO.47

発行 全国学校安全教育研究会
会長 木間 東平



第46回全国・東京都学校安全教育研究大会

全国学校安全教育研究会会長
東京都葛飾区立柴又小学校長 木間 東平

第46回全国・東京都学校安全教育研究大会が、感染予防対策の下、3年ぶりに対面でできることを喜んでます。国分寺市教育委員会並びに会場校の国分寺市立第十小学校のご理解、ご協力に深く感謝申し上げます。

さて、第46回研究大会は、令和4年3月に閣議決定された『第3次学校安全の推進に関する計画』に基づき、「実践的・実効的な安全教育の推進」「組織的な取組の一層の充実」「安全で安心な学校環境の整備」を柱に、公開授業、研究発表、講演を計画しました。また、今大会では、第3次計画の中に位置付けられ、令和5年度から全学校現場で進めていく「生命の安全教育」に関する講演を入れしました。全国の多くの学校関係者の皆様に、公開授業や講演を通じて、第3次計画推進の一助になれば幸いです。

児童・生徒の交通事故、学校での熱中症事故、校内への不審者侵入事件など、児童・生徒の安全を脅かす事例が毎年のように報告され、それぞれの学校において、その都度指導が行われています。本研究



『実効的な安全教育』を推進しましょう

東京都学校安全教育研究会会長
東京都府中市立府中第二中学校長 高汐 康浩

WHOが新型コロナウイルスの流行を「パンデミック」であると表現し、世界の各国が強い危機感をもって感染症への対策を継続してきました。日本の学校の教育現場においても、その影響は大きく、現在でもさまざまな対策を講じながら日常の教育活動を行っているところです。日本全国の各地の学校では子供の学びを止めることなく継続させています。子供たちが安全な環境で安心して学習を行うことができるよう、日々、工夫のある教育活動をされている教職員の皆さん、そして、それを支える地域や関係機関等の皆さんのお取組に心から敬意を表したいと思います。

さて、東京都では、各学校における安全教育の実践的な指導資料である「安全教育プログラム」を活用した安全教育を推進しています。本プログラムには、新たな実践事例として「生命（いのち）の安全教育」に関わる防犯教育の実践例や、防災教育のDX（デジタルトランスフォーメーション）を見据えた内容も掲載されています。この「安全教育プログラム」については東京都教育委員会のホームページに掲載されていますので、ぜひ、ご覧ください。

東京都学校安全教育研究会におきましては「安全教育プログラム」を活用した『実効的な安全教育』の在り方について研究を進めてまいりました。安全教育は、体育科・保健体育科や社会科、理科及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて行っています。教科等横断的な視点で関連性をもたせながら組み立てていくことが大変重要であり、例えば特別活動では各教科等の特質に応じて育まれた子供の資質・能力を、集団や自己の生活上の課題解決に向けた実践的な集団活動を通して、総合的で汎用的な力に変え、実生活や実社会で活用できるようにすること、つまり『実効的な安全教育』が最も重要であると捉えています。安全教育に関わる先進的な研究や取組に触れ、それらを活用していただき『実効的な安全教育』を推進していきましょう。

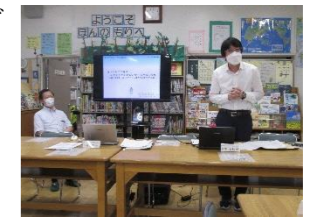
第46回全国・東京都学校安全教育研究大会にむけて [令和5年2月10日(金) 会場：東京都国分寺市立第十小学校]

国分寺市立第十小学校長 坂井 由利子

令和4年度から2年間、国分寺市教育委員会研究協力校の指定を受け、安全教育に取り組んでいます。本校の研究は、大会主題にある児童の力の育成はもちろんのこと、今年度から始まった「第3次学校安全の推進に関する計画」に示されている方向性に基づき、学校経営の土台としての安全教育を学校組織挙げて推進していくことを目標としました。取組内容について一部ご紹介します。

【指導の充実のために】

- 「第3次学校安全の推進に関する計画」（文部科学省）、「安全教育プログラム」（東京都教育委員会）、学習指導要領等の資料を活用した研修を実施した。各教員が夏季研修として受講した「安全eラーニング（独立行政法人教職員支援機構）」安全教育に関する研修の報告会を実施した。
- カリキュラム・マネジメントを行うため、安全教育に関わる年間学習指導計画を作成した。
- 全学級が授業を公開した。研究協議を深められるよう、全国・東京都学校安全教育研究会のホームページに授業公開日をアップしたことで、研究会会員だけでなく外部からの参加もあった。



【安全教育の取組を分かりやすく、定着するために】

- 取組のねらいや学習内容などを明確にするために、「命を守る」「人とつながる」「環境に関わる」の3つの視点を設定した。児童には「想像する・行動する」「大切なもの 命・笑顔」を行動指針として示し、ルールの遵守や危険予測・危険回避等について自らが考えて行動する習慣へと導いた。キーワードを繰り返し活用し、指導することが、安全教育の定着につながると考える。



【社会に開かれた教育課程・協働意識の向上のために】

- コロナ禍のため、積極的な活動ができなかったが、学校だけでなく「いつでも・どこでも・だれでも」が児童の安全確保を意識し行動できるよう、保護者・地域等を対象とした講演会や授業参観、安全点検、避難訓練等を行った。また、専門分野・関係諸機関の力をお借りし、体験的な教育活動に取り組んだ。

第16回 学校の安全・危機管理セミナー ～日本安全教育学会 Tokyo Meeting 2022～

全国学校安全教育研究会会長 木間 東平

令和4年7月29日、国立オリンピック記念青少年総合センターにて、3年ぶりに「学校の安全・危機管理セミナー」を学校安全教育研究所（代表 矢崎良明）と全国学校安全教育研究会の主催で実施しました。今年のセミナーは、日本安全教育学会（理事長 戸田芳雄）のTokyo Meeting 2022と併せての開催でもありました。



今回は、「最近の自然災害とこれからの学校安全」をセミナーのテーマとし、宮城教育大学の小田隆史先生（演題「洪水・土砂災害と学校安全」～ウェブ地図で備える～）と滋賀大学の藤岡達也先生（演題「SDGsと防災教育」）にご講演いただきました。また、今年3月に閣議決定された「第3次学校安全の推進に関する計画」について、文部科学省安全教育調査官の森本晋也先生にご講演いただきました。さらに、講演後は、パネルディスカッション「今後、防災教育をどのように進めるか」と題し、ご講演いただいた先生、学校現場を預かる現役校長、本研究副会長 伊藤進先生も加わり

参加者と考えを深め合いました。当日は、安全教育のこれからを考える貴重な一日となりました。

自他の生命を尊重し、安全に行動できる児童の育成 ～自ら危険を予測して行動する力の育成を通して～

さいたま市立道祖土小学校長 板東 浩之

1 研究の概要

本校では昨年度まで、特別活動（学級活動）を中心に「学び合い」の力を高める研究を行い、互いに伝え合う態度・姿勢を培ってきた。それを土台に本年度は安全教育を推進し、自分も相手も大切にすると、自ら判断し行動できる力をつけていく。安全教育内の領域としては、交通安全および「生命の安全教育」に重点を置いて研究を進めていく。

2 今年度の取組

(1) 学区内の安全マップづくり

学区内の道路や横断歩道などにどのような危険がひそんでいるか、フィールドワークを行って調べ、マップづくりをした。この活動では日本交通安全教育普及協会の協力を得て、写真データをマップに載せたり、GPS座標から正確な位置を割り出したりする活動を支援していただいた。またフィールドワークには保護者も参加して親子で安全を考える契機となるようにした。



(2) 「生命の安全教育」の実施

自他を共に大切にするという本校の目標は、「プライベートゾーン」「適切な距離（感）」について指導する「生命の安全教育」の目標と合致する。全学年で実施し、特に3年生と6年生では研究授業を行った。3年生では養護教諭がT2として入り、発達段階に合わせた分かりやすい言葉で「プライベートゾーン」について指導した。6年生では市教委からゲストティーチャーを招き、SNSやインターネットで起こりうるトラブルとその防止について学んだ。またこれらの研究授業には、本研究会の木間東平会長を指導者としてお招きし、ご指導いただいた。



千葉県教育研究会（安全教育部会）の活動について

全国学校安全教育研究会事務局
千葉市立貝塚中学校教諭 本多 亨

昭和43年に発足した安全教育研究部は、児童・生徒の安全についての認識を高め、潜在危険に対応できる能力・態度を育てるために各地区で安全教育の推進を図ってきた。さらに千葉県教育庁教育振興部学校安全保健課のご指導の下、千葉県教育研究会主催の視察研修会、授業研究会や教育講演会等の研究活動を通して各地において研究交流と深化を図ってきた。

令和4年度千葉県教育研究会（安全教育部会）の活動報告

1 研究主題「学校安全教育の充実と実践活動の推進」

2 具体的な取組や運営

(1) 市会の組織（千葉、印旛、松戸、船橋、柏、葛南、香取、東総、長生、夷隅の10市会）

(2) 理事研修会の内容

①第1回理事研修会（5/27千葉県教育会館）理事会、講話、各市会の活動状況、課題等

②第2回理事研修会（2/24千葉県教育会館）理事会、情報交換、各市会の活動報告等

(3) 視察研修

①6/21 千葉県防災危機管理課（千葉県庁：千葉市中央区）研修会、施設見学

②8/24 そなエリア東京都（東京都港区）防災体験学習「東京直下72H TOUR」

(4) 教育講演会（10/18 千葉市緑区誉田公民館）

「千葉市における地域の防災対策について」千葉市総務部補防災対策課

3 成果と課題

年2回の理事研修会を柱に、視察研修会や教育講演会を開催し、充実した研修を行い、安全教育に対する理解を深めることができた。また、来年度は、コロナ禍で途絶えていた授業研究会と研究紀要の作成を行いたい。

第47回全国・東京都学校安全教育研究大会

研究主題 自他の生命を尊重し、安全のための行動ができる児童の育成
～危険を予測し、自ら回避できる能力を育成するために～

東京都葛飾区立花の木小学校長 伊藤 進

令和4・5年度葛飾区教育研究指定校も受けて、2年間に渡って安全教育の推進に取り組んできた成果を発表します。特別活動、道徳などによる安全教育はもちろん、理科、社会、生活科などの教科学習と関連付けて進める安全教育の推進について研究を深めてきました。たくさんの方にご参会いただいて、ご指導、ご助言をいただけましたら幸いです。よろしくお願ひします。

【第47回全国学校安全教育研究大会・東京都学校安全教育研究大会】

日時 令和6年2月9日（金）開催
場所 東京都葛飾区立花の木小学校

令和4年度 学校安全教育研究会 組織

特別顧問 戸田 芳雄（日本安全教育学会理事長・明海大学客員教授）

顧問 四十九院公洋 岩切 玲子 久富美智子 池田 實 小林 元子
矢萩 惠一 沢田 明 矢崎 良明 澤野 明夫 井口 信二
永山 満義 平松有理子 桶田ゆかり 鳥塚 恵子

<全国学校安全教育研究会>

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	木間 東平	東京都葛飾区立柴又小学校	事務局	木次 勝義	(鳥根県) 学校安全教育研究所教授
副会長	渡部佳代子	東京都江東区立第五砂町幼稚園	事務局	長岡 佳孝	(山形県) 学校安全教育研究所教授
副会長	伊藤 進	東京都葛飾区立花の木小学校	事務局	津布久都夫	(東京都) 元全国学校安全教育研究会事務局長
副会長	高汐 康浩	東京都府中市立府中第二中学校	事務局	山田 誠一	元 東京都学校安全教育研究会副会長
事務局長	角田 成隆	東京都足立区立足立小学校	事務局	山田 明	前 東京都学校安全教育研究会副会長
事務局次長	伊藤 淳	東京都府中市立府中第五中学校	事務局	原野 隆	元 東京都学校安全教育研究会研究部長
事務局	本多 亨	千葉県千葉市立貝塚中学校	会計	吉羽 優子	東京都文京区立小日向台町幼稚園
事務局	西原三智隆	福岡県新宮町立新宮東中学校	監事	村田有美子	東京都江東区立大島幼稚園

<東京都学校安全教育研究会>

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	高汐 康浩	府中市立府中第二中学校	研究部員	関谷 洋平	府中市立府中第二中学校
副会長	渡部佳代子	江東区立第五砂町幼稚園	研究部員	橋詰 貴	町田市立南成瀬中学校
副会長	佐々木克二	世田谷区立東深沢小学校	研究部員	小野 正門	大田区立矢口東小学校
事務局長	原田 英徳	葛飾区立西小菅小学校	広報部長	松本 麻巳	北区立堀船小学校
事務局次長	坂下 惣栄	町田市立小山田中学校	広報部長	南 美貴	新宿区立西新宿こども園
事務局員	西原 洋一	大田区立矢口東小学校	広報部員	小川 雄也	調布市立神代中学校
研究部長	坂井由利子	国分寺市立第十小学校	会計部長	立石 晃子	荒川区立南千住第二幼稚園
研究部長	渡邊 利枝	調布市立第五中学校	会計部長	吉羽 優子	文京区立小日向台町幼稚園
研究部員	中野 健	国分寺市立第十小学校	会計部員	千葉 千里	府中市立府中第二中学校
研究部員	中澤 郁実	杉並区立浜田山小学校	監事	村田有美子	江東区立大島幼稚園

